

第 80 回例会  
公開講演会

2026 年 9 月 13 日 (日) 13 時 30 分～16 時

北海学園大学 教育会館 1 階 AV4 教室

地下鉄東豊線 学園前駅下車 3 番出口から直結

参加・視聴：無料  
途中出入り自由

対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催

【会場参加】直接会場へ 申込不要

【オンライン参加】事前登録要 9月10日(木)まで

名前 電話番号 メールアドレスを連絡先へ

第一部 13:30～14:40

荒波を越えて半世紀  
未来へつなぐ私たちのストーリー

- 1) 北海道女性研究者の会の歴史 事務局
- 2) 創立期～発展期 鼎談で振り返るあの頃  
元北海道大学 落合滋子(糖鎖生物学)  
北海道大学名誉教授 森美和子(有機合成化学)  
北海道大学名誉教授 森谷 絜(健康科学)



落合 滋子



森 美和子



森谷 絜

- 3) 発展期 岡田淳子代表期のエピソード 事務局

- 4) 活動の危機 「あきらめない」が  
つないだ新体制へのバトン  
元札幌医科大学  
山田恵子(生化学、栄養学)



- 5) AI 時代の女性研究者とコミュニティ  
さくらインターネット研究所  
朝倉 恵(教育方法学)



第二部 14:40～16:00

女性研究者として歩んだ半世紀と  
未来への思い  
研究・教育、ケア、ジェンダー

北海道教育大学名誉教授

笹谷春美(社会学、ジェンダー論)



【概要】

日本の女性研究者の割合は16.9%(2020年度)、少しずつ増加しているとはいえ、そのスピードは遅く OECD 中最下位です。男社会の研究環境の中で女性が「研究者になる」道は今日でもまだ険しいようです。女性をはじめ多様な視点からの研究は、社会を豊かにし平和にも貢献すると思います。だから私は研究・教育領域のジェンダー平等を望みます。

かれこれ半世紀、私は研究・教育、結婚、家事・育児・介護、そして社会的活動が続けるための様々なハードルをなんとか乗り越えてきた、生き残り組のひとりです。一人一人のハードルは多様です。それをどう乗り切るか、できれば楽しく、生き残るすべを若い人たちとも共有したいと思います。

●懇親会(講演会終了後～17時 7号館6階 行動科学実験室Ⅰ) どなたでも参加できます。

●会員へのお知らせ 13時～講演会会場で総会(20分程度)を行ないますのでご参加ください。

主 催 北海道女性研究者の会 HP: <http://hw-rscher.sblo.jp/>  
後 援 札幌市教育委員会・北海道教育委員会  
連絡先 E-mail: [hw-mail@hw-rscher.sakura.ne.jp](mailto:hw-mail@hw-rscher.sakura.ne.jp)